

9669

クランプオンセンサ CLAMP ON SENSOR

取扱説明書 / Instruction Manual

2015年4月 改訂10版 Printed in Japan

9669A980-10 15-04H



HIOKI

日置電機株式会社

■ 製品のお問い合わせはコールセンターまで

0120-72-0560 9:00～12:00,13:00～17:00
土・日・祝日を除く

TEL 0268-28-0560 FAX 0268-28-0569 E-mail info@hioki.co.jp

■ 修理・校正のご依頼はお買上店（代理店）または最寄りの営業所まで
また、ご不明な点がありましたらサービスお問合せ窓口まで

TEL 0268-28-0823 FAX 0268-28-0824 E-mail cs-info@hioki.co.jp

■ お問い合わせ・販売ネットワーク

<http://www.hioki.co.jp/contact/>

本社 〒386-1192 長野県上田市小泉 81

TEL 0268-28-0555 FAX 0268-28-0559



1308

| 保証書 | | HIOKI | | | | | |
|---|--------|-------|-------------------|-----|--------|--|--|
| 形名 | 9669 | 製造番号 | 保証期間 購入日 年 月より1年間 | | | | |
| <p>本製品は、弊社の厳密な検査を経て合格した製品をお届けした物です。方ご使用中に故障が発生した場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。本書の記載内容で無償修理をさせていただきます。また、保証期間は購入日より1年間です。購入日が不明の場合は、製品の製造年月から1年を目安とします。ご連絡の際は、本書を提示してください。また、確度については、明示された確度保証期間によります。</p> <p>お客様 住所: 〒 _____ 氏名: _____</p> <p>*お客様へのお願い 保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。 「製造番号、購入日」およびお客様「住所、ご氏名」は恐れ入りますが、お客様にて記入していただきますようお願いいたします。</p> <p>1. 取扱説明書・本体注意ラベル（刻印を含む）等の注意事項に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理いたします。また、製品のご使用による損失の補償請求に対しては、弊社審議の上購入金額までの補償とさせていただきます。なお、製造後一定期間を経過したものおよび部品の生産中止、不測の事態の発生等により修理不可能となった場合は、修理、校正等を辞退する場合がございます。</p> <p>2. 保証期間内でも、次の場合には保証の対象外とさせていただきます。</p> | | | | | | | |
| <p>-1. 製品を使用した結果生じる被測定物の、二次的、二次的な損傷、故障 -2. 製品の測定結果がもたらす、二次的、三次的な損傷、被害 -3. 取扱説明書に基づかない不適当な取り扱い、または使用による故障 -4. 弊社以外による修理や改造による故障および損傷 -5. 取扱説明書に明示されたものを含む部品の消耗 -6. お買い上げ後の輸送、落下等による故障および損傷 -7. 外観上の変化（筐体のキズ等） -8. 火災、風水害、地震、落雷、電源異常（電圧、周波数等）、戦争・暴動行為、放射能汚染およびその他天災地変等の不可抗力による故障および損傷 -9. 各種通信・ネットワーク接続による損害 -10. 保証書の提出が無い場合 -11. その他弊社の責任とみなされない故障 -12. 特殊な用途（宇宙用機器、航空用機器、原子力用機器、生命に関わる医療用機器および車輛制御機器等）に組み込んで使用する場合で、前もってその旨を連絡いただかない場合</p> <p>3. 本保証書は日本国内のみ有効です。 (This warranty is valid only in Japan.)</p> | | | | | | | |
| <p>サービス記録</p> <table border="1"> <tr> <th>年月日</th> <th>サービス内容</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> | | | | 年月日 | サービス内容 | | |
| 年月日 | サービス内容 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| <p>日置電機株式会社 〒386-1192 長野県上田市小泉 81 TEL 0268-28-0555 / FAX 0268-28-0559 10-09</p> | | | | | | | |

はじめに
このたびは、HIOKI 9669 クランプオンセンサをご選定いただき、誠にありがとうございます。この製品を十分に活用いただき、末長くご使用いただくためにも、取扱説明書はていねいに扱い、いつも手元に置いてご使用ください。

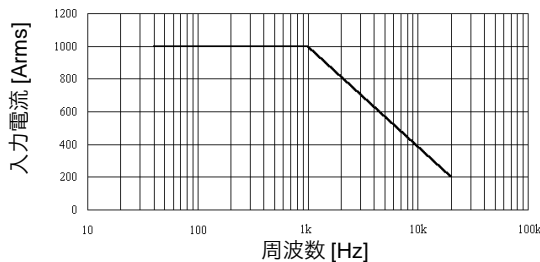
点検
本器がお手元に届きましたら、輸送中において異常または破損がないか点検してからご使用ください。万一、破損あるいは仕様と異なる動作しない場合は、お買上店（代理店）が最寄りの営業所にご連絡ください。

使用前の確認
使用前には、保存や輸送による故障がないか、点検と動作確認をしてから使用してください。故障を確認した場合は、お買上店（代理店）が最寄りの営業所にご連絡ください。ケーブルの被覆が破れたり、金属が露出していないか、使用する前に確認してください。損傷がある場合は、感電事故になるので、お買上店（代理店）が最寄りの営業所にご連絡ください。

保守・サービス
● 本器の汚れをとるときは、柔らかい布に水か中性洗剤を少量含ませて、軽く拭いてください。ベンジン、アルコール、アセトン、エーテル、ケトン、シンナー、ガソリン系を含む洗剤は絶対に使用しないでください。変形変色することがあります。
● 故障と思われるときは、お買上店（代理店）が最寄りの営業所にご連絡ください。輸送中に破損しないように梱包し、故障内容も書き添えてください。輸送中の破損については保証しかねます。

仕様

| | |
|---------|---|
| 定格一次電流 | AC1000 A |
| 出力電圧 | AC0.5 mV/A |
| 振幅確度 | ±1.0% rdg. ±0.01% f.s. (f.s. は 1000 A, 45 Hz ~ 66 Hz, コア中心にて) |
| 位相確度 | ±1° 以内 (45 Hz ~ 5 kHz) |
| 確度保証条件 | 確度保証温湿度範囲 : 23±5°C、80%rh 以下 (結露しないこと) クランプ開閉回数 : 10,000 回まで 確度保証期間 : 1 年間 調整後確度保証期間 : 1 年間 |
| 振幅周波数特性 | 40 Hz ~ 5 kHz ±2% 以内 (確度からの偏差) |
| 導体位置の影響 | ±1.5% 以内 (中心からの偏差) |
| 外部磁界の影響 | 1 A 相当以下 (400 A/m の交流磁界において) |
| 最大入力電流 | 1000 A rms 連続 (使用温湿度範囲内、周波数ディレーティングによる) |



| | |
|--|--|
| 温度係数 | ±0.02%rdg/°C |
| 耐電圧 | AC 7060 V 1 分間 (ケーブル出力端子 - コア間, ケース - コア間) |
| 対地間最大定格電圧 | AC 600 V rms 以下 |
| 使用温湿度範囲 | 0°C ~ 50°C, 80%rh 以下 (結露しないこと) |
| 保存温湿度範囲 | -10°C ~ 60°C, 80%rh 以下 (結露しないこと) |
| 使用場所 | 高度 2000 m 以下, 屋内 |
| 適合規格 | (安全性) EN61010 測定カテゴリ III, 汚染度 2 (予想される過渡過電圧 6000 V) (EMC) EN61326 |
| 測定可能導体径 | φ55 mm 以下, 80 × 20 mm プスパー |
| ケーブル長 | 約 3 m |
| 外形寸法 | 約 99.5W × 188H × 42D mm (突起物含まず) |
| 質量 | 約 590 g |
| 付属品 | 取扱説明書 |
| 製品保証期間 | 1 年間 |
| f.s.: 最大表示値、目盛長 (一般的には、現在使用中のレンジを表します) | |
| rdg.: 読み値 (現在測定中の値、測定器が現在指示している値を表します) | |

安全について

本器を安全にご使用いただくために、また機能を十二分に活用いただくために、下記の注意事項をお守りください。

⚠ 危険

この機器は IEC 61010 安全規格に従って、設計され、試験し、安全な状態で出荷されています。測定方法を間違えると人身事故や機器の故障につながる可能性があります。取扱説明書を熟読し、十分に内容を理解してから操作してください。万一事故があっても、弊社製品が原因である場合以外は責任を負いかねます。

測定カテゴリについて

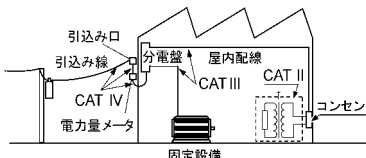
本器は CAT III に適合しています。測定器を安全に使用するため、IEC61010 では測定カテゴリとして、使用する場所により安全レベルの基準を CAT II ~ CAT IV で分類しています。

CAT II: コンセントに接続する電源コード付き機器 (可搬形工具・家庭用電気製品など) の一次側電路
コンセント差込口を直接測定する場合は CAT II です。

CAT III: 直接分電盤から電気を取り込む機器 (固定設備) の一次側および分電盤からコンセントまでの電路

CAT IV: 建造物への引込み電路、引込み口から電力量メータおよび一次側電路保護装置 (分電盤) までの電路

カテゴリの数値の小さいクラスの測定器で、数値の大きいクラスに該当する場所を測定すると重大な事故につながる恐れがありますので、絶対に避けてください。



カテゴリのない測定器で、CAT II ~ CAT IV の測定カテゴリを測定すると重大な事故につながる恐れがありますので、絶対に避けてください。

安全記号

| | |
|---|--|
| ⚠ | 使用者は、取扱説明書内の ⚠ マークのあるところは、必ず読み注意する必要があります。使用者は、機器上に表示されている ⚠ マークのところについて、取扱説明書の ⚠ マークの該当箇所を参照し、機器の操作をしてください。 |
| □ | 二重絶縁または強化絶縁で保護されている機器を示します。 |
| ~ | 交流 (AC) を示します。 |
| ⚡ | 活線状態の電路に着脱できることを示します。 |

規格に関する記号

| | |
|----|---|
| CE | 欧州共同体関係理事会指令 (EC 指令) が示す規制に適合していることを示します。 |
|----|---|

取扱説明書の注意事項には、重要度に応じて以下の表記がされています。

⚠ 危険 操作や取扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷につながる危険性が極めて高いことを意味します。

⚠ 警告 操作や取扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷につながる可能性があることを意味します。

⚠ 注意 操作や取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う場合、または機器を損傷する可能性があることを意味します。

注記 製品性能および操作上でのアドバイスのことを意味します。

使用上の注意



この取扱説明書には本器を安全に操作し、安全な状態に保つのに要する情報や注意事項が記載されています。本器を使用する前に下記の安全に関する事項をよくお読みください。

⚠ 危険

- 短絡事故や人身事故を避けるため、本器は AC600 V 以下の電路で使用してください。
- 本器は、必ずプレーカの二次側に接続してください。プレーカの二次側は、万一短絡があっても、プレーカにて保護します。一次側は、電流容量が大きく、万一短絡事故が発生した場合、損傷が大きくなるので、測定しないでください。
- 感電事故を防ぐため、使用中はバリア (障壁) より先を触らないでください。

⚠ 警告

- 本器をぬらしたり、ぬれた手で測定しないでください。感電事故の原因になります。
- 活線で測定するので、感電事故を防ぐため、労働安全衛生規則に定められているように、電気用ゴム手袋、電気用ゴム長靴、安全帽等の絶縁保護具を着用してください。
- 測定範囲を超える電流を長時間入力しないでください。本器を破損する恐れがあります。

⚠ 注意

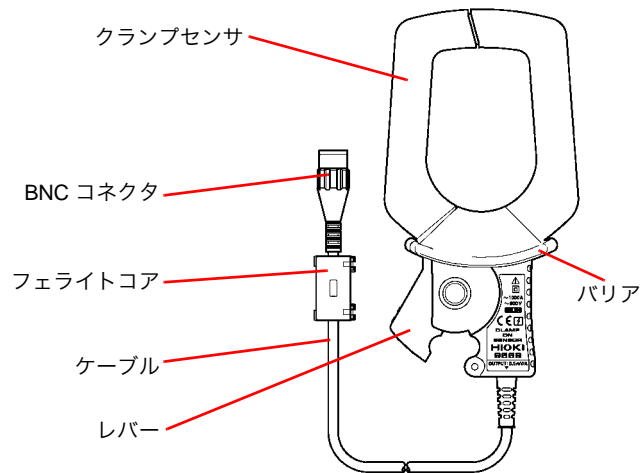
- 直射日光や高温、多湿、結露するような環境下での、保存や使用はしないでください。変形、絶縁劣化を起こし、仕様を満足しなくなります。
- 本器を落下させたり、衝撃を加えないでください。クランプセンサの突き合わせ面が損傷し、測定に悪影響を及ぼします。
- クランプセンサ先端部に異物等を挟んだり、クランプセンサの隙間に物を差し込んだりしないでください。センサ特性の悪化、開閉動作不具合の原因になります。
- クランプセンサ部突き合わせ面にゴミなどが付着した場合は、測定に影響がでますので、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ケーブル類の被覆に損傷を与えないため、踏んだり挟んだりしないでください。
- 断線による故障を防ぐため、ケーブルの付け根を折ったり引っ張ったりしないでください。

注記

トランスや大電流路など強磁界の発生している近く、また無線機など強電界の発生している近くでは、正確な測定ができない場合があります。

各部の名称

9669 は電圧出力型クランプセンサです。



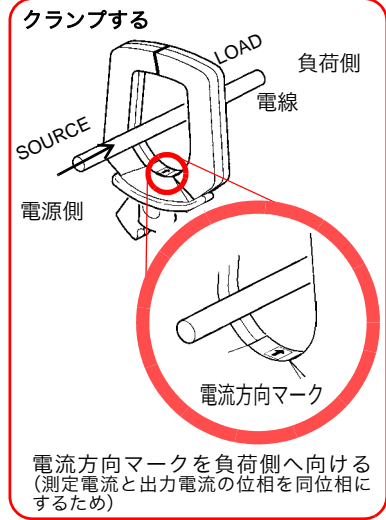
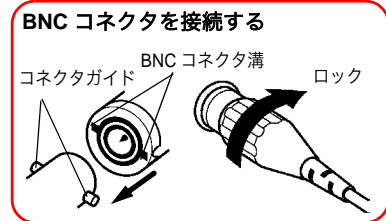
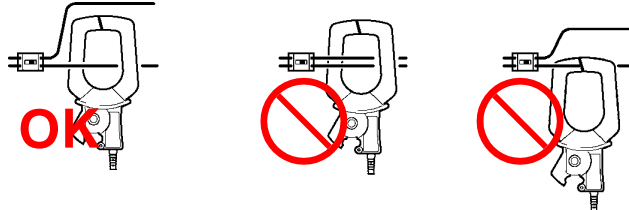
測定方法

⚠ 注意

- BNC コネクタを引き抜くときは、必ずロックを解除してから、コネクタを持って引き抜いてください。ロックを解除せずに無理に引っ張ったり、ケーブルを持って引っ張るとコネクタ部を破損します。
- 接続機器の電源が入った状態または測定導体をクランプした状態で、コネクタの抜き差しをしないでください。接続機器および本器の故障の原因になります。

注記

導体は必ず 1 本だけクランプしてください。単相 (2 本)、三相 (3 本) を同時にクランプした場合は測定できません。



- BNC コネクタの溝を、接続機器側のコネクタガイドに合わせて差し込み、右へ回してロックします。
- クランプセンサ部を開き、電流方向マークの矢印を負荷側に向けて、導体を 1 本だけ中央にクランプします。
- クランプセンサ部が確実に閉じていることを確認します。

BNC コネクタを接続機器から取り外すときは、左に回してから、引き抜いてください。

電流方向マークを負荷側へ向ける (測定電流と出力電流の位相を同位相にするため)